



建交労



2022年10月4日

建交労神奈川県南支部

2022年秋季年末闘争No.5

2021年度推進ニュース④通算268号

発行責任者 小島 茂

神奈川県本部第24回定期大会10/2開催 組織拡大目標500名県本部にほぼ到達！

建交労神奈川県本部は、10月2日に川崎市教育文化会館において第24回定期大会を開催しました。コロナ禍によって過去2年間はリアル大会が見送られてきたため3年ぶりで仲間が顔を合わせての大会となりました。大会は、小野執行委員（鉄道本部）が、安倍元首相の国葬強行をはじめ岸田政権の無法を告発し「国民の声を実現するたかひに奮闘しよう」と訴える開会挨拶で始まり大会議長には神奈川県南支部代議員の佐藤章執行委員が選出されて大会が進行しました。主催者を代表して挨拶を行なった伊藤東一委員長は国会で3部の2以上を握る改憲勢力によって国民主権と民主主義・平和の危機が進行している情勢に触れ、同時に県本部のたかひの前進を強調しました。とりわけ組織拡大は



主催者代表挨拶する伊藤委員長 左は佐藤議長



大会議案を報告・提案する高橋英晴書記長

軽貨物を中心とする拡大で58名の純増を実現し県本部実勢は494名に達して昨年大会で目標とした500名以上の県本部にほぼ到達したことを評価、さらに建交労県本部結成時の目標2000名県本部実現に奮闘しようと呼びかけました。また9月28日に中労委で和解した三昭運輸分会とメイショクアソシエイツ分会争議の前進を報告し、学童保育指導員支部が取り組んでいる川崎市に対する署名運動の重要性を強調しました。

続いて議案提案を行った高橋英晴書記長は、情勢の位置づけを核戦争・気候危機・感染症など“人類の危機”と強調しました。1年間のたかひの成果としては組織拡大での奮闘を評価するとともに、軽貨物での組織拡大の経験や要求前進のポイントとしてITなども活用した情報発信がメディアに与えるインパクトを含めて重要な武器になることを強調しました。こうした1年間のたかひの到達点を踏まえて次年度方針では、組織拡大目標を600名県本部としコロナ化を克服して組合員間の交流・文化レク活動の再開をめざすなど積極的な提案を行いました。

神奈川県本部の2022年度組織拡大目標（大会方針）

	県南支部	ダンプ支部	鉄道本部	事業団	学童保育	労職	神田支部	合計
拡大人数目標	24	70	4	4	4			106
到達目標	100	415	21	43	9	2	10	600

大会は各支部からの積極的な発言で成功！ 神奈川県南支部の小島委員長がトップで発言

高橋書記長の報告提案や会計監査報告などのあとに若干の休憩をとって全体討論に入りました。発言のトップに立ったのは県南支部代議員の小島茂執行委員長です。小島代議員は、9月28日に中労委での和解が成立した三昭運輸分会の争議支援に対して県本部のすべての仲間に感謝とお礼を述べました。また、神奈川県南支部が1年間にとりこんできた運動の経過を簡潔にまとめて報告するとともに10月7日に予定している東神T Sでの宣伝行動への協力も呼びかけました。



討論のトップで発言する県南支部の小島委員長

神奈川県南支部からは、組織拡大の成果と軽貨物の劣悪な実態を社会的にアピールして成果につなげた軽貨物の仲間が「運動の基本は、みんなで話し合い、みんなで決めて、みんなで行動すること」と発言して原則的な運動の大切さが示されました。

学童の仲間は、自主学童に対する川崎市の理不尽な対応を変える取組みを続けるなかで少しずつ変化が見えている。川崎市への陳情署名を成功させて成果につなげたい。また、組合員の拡大でも頑張りたいと発言しました。

鉄道本部の仲間は、現場の労働者が仕事の継続を決意したことによってJRとの交渉権を維持できたことは大きな成果だと報告しました。一方、労働者の分断による労働組合の弱体化がいっそう加速し儲け最優先のJRの実態を告発しました。

横浜市内の公園やビル清掃の事業を展開する高齢者事業団の仲間は、1年間で10名の仲間が増えたが、業務上組合員全体が集まることは難しい。同じ趣味を持つグループなどによる少人数での交流を積極的に取り組んでいきたいと発言しました。

書記長提案を支持し補強する討論を終えて高橋書記長が討論のまとめをおこなって議案採決に移り、すべての議案が全員一致で採択されました。

その後は、新組織・新入組合員の紹介があり、役員選挙・スト権投票、大会宣言・特別決議の提案・採択などと続いてすべての議事を滞りなく終え、退任役員の挨拶、新役員の紹介・挨拶と続いて、最後は開会挨拶と同じ小野執行委員による閉会挨拶のあと、県本部の新副委員長に信任された県南支部の清野副委員長の発声で“団結頑張ろう”の唱和を行い、第24回県本部大会は成功裏に終了しました。



紹介された弥生京極社班の原班長

県本部 24 回大会構成員と出欠状況

	県南	ダンプ	鉄道本部	事業団	学童保育	合計
代議員定数	8	8	2	3	2	23
出席代議員	8	7	2	3	1	21
県本部役員	3	6	1	1	1	12
出席役員	2	5	1	1	1	10



2022 年度役員に選出された皆さんのあいさつ

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついだ岸田文雄政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中国や朝鮮を念頭に違憲の「敵基地攻撃能力の保有」となえ、歴代政権がかろうじて維持してきた防衛費の対GDP比1%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ欧米諸国との軍事協力を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。

改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲案づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

【請願事項】

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

名 前	住 所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には用いません。

呼びかけ団体 9条改憲NO! 全国市民アクション

ホームページ: <http://kaikenno.com> メールアドレス: info@kaikenno.com

ツイッター twitter.com/no9kaikenno
インスタグラム [instagram.com/9jyokaikenno/](https://www.instagram.com/9jyokaikenno/)
フェイスブック [facebook.com/kaikenno/](https://www.facebook.com/kaikenno/)



kaikenno.com

連絡先

- 戦争をさせない1000人委員会《☎03-3526-2920》
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条壊すな！実行委員会《☎03-3221-4668》
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター《☎03-5842-5611》
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会《☎03-3221-5075》
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

取り扱い団体

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏のおよびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
電話：03-5842-6031